

地蔵御和讃

ポイント注意

ポイント注意 七五調二行の曲、前半陽旋律、後半陰旋律。初めに戻った時の音程を正しく。追善供養の心持ちでお念仏はしっかりと。

古松 濤

歌
基 作曲

普通の速さ ♩ = 50

[illegible]

○ × × ○ ○ × × × ○ V ○ × ○ × ○ ×

しきとちこ ーでくの ーくにうに ーにもえて

やまつけ たこえ ーてーらーいーう の

すあみはと そわどはう ーれーりーこーを の なごいつ りがしむ

a tempo *rit.* 18:

地蔵和讃

古歌

- 1 これはこの世の ことならず 死出の山路の 裾野なる
- 2 賽の河原の ものがたり 聞くにつけても 憐なり
- 3 二つや三つや 四つ五つ 十にも足らぬ みどり児が
- 4 賽の河原に 集まりて 父上こいし 母こいし
- 5 河原の石を とり集め これにて回向の 塔をつむ
- 6 一重くんでは 父のため 二重くんでは 母のため
- 7 日も入りあいの その頃は 地獄の鬼が 現われて
- 8 くろがね棒を とりのべて 積みたる塔を おしくずす
- 9 その時能化の 地藏尊 われを冥途の 父母と
- 10 思うてあけくれ 頼めよと 幼き者を み衣の
- 11 裳裾のうちに かき入れて 憐み給うぞ ありがたき
- 12 未だ歩まぬ みどり児を いだきかかえて なでさすり
- 13 憐み給うぞ ありがたき 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏
- 14 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏